

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果と今後の方策（篠島小6年生）

<学力調査について> ○…よかった点, △…課題のある点

国語

- 「話し言葉と書き言葉との違いを理解する」「必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉える」問題がよくできていました。コミュニケーションタイムの取組により、コミュニケーション能力がついたことが表れていると思います。
- △「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける」問題の正答率が特に低いことが分かりました。各教科の授業で話し合い活動をさらに充実させることに加えて、朝会スピーチなどの自己表現活動の機会を増やすとともに、発表に対する意見交流活動を随時取り入れることで、表現力やメタ認知力を向上させていきたいと思っています。

算数

- 「百分率で表された割合を分数で表す」「分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる」問題がよくできていました。
- △「示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している」「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる」ことを苦手とする児童が多いことが分かりました。問題の意図をしっかりと理解した上で立式することができるよう、普段の授業から文章題に慣れさせていきたいと思っています。

理科

- 「問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつ」「問題に対するまとめを導きだすことができるように、実験の過程で得られた結果を適切に記録する」問題がよくできていました。
- △「実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる」問題の正答率が低いことが分かりました。実験結果を予想するだけでなく、結果に対する考察についても、個人の考えをグループや学級全体で話し合う機会を多く取り入れたいと思っています。

生活習慣や学習環境に関する調査について

- ・「将来の夢をもっている」「人の役に立つ人間になりたい」「いじめは、どんな理由があってもいけない」「友だちと協力するのは楽しい」に対してすべての児童が肯定的に回答するなど、協調性や規範意識、目的意識をもって日常生活を送っていることが分かりました。
- ・「自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあるか」「地域の行事に参加しているか」に対しても、すべての児童が肯定的に回答するなど、地元篠島への愛着をもつ児童が多いことが分かりました。
- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか」「学校に行くのは楽しいと思うか」に対して、約半数の児童が否定的な回答でした。児童が不安や悩みごとを抱え込まないよう、児童との関係づくりにより一層尽力していきます。